

< 2 学期制 Q & A >

< Q 1 : 2 学期制になると1つの学期が長くなるので、テストの範囲が広がって子供たちは大変ではないですか? >

A : 学習のまとめとしてのテストにも今後、工夫が求められます。今までのような方法の他に「学習のひとまとまりが終了した時点でテストを行う、その結果に基づいてさらに指導を行う」ということもますます大切になってきます。このことは、「テストがあるから勉強する」という考え方を「普段から勉強する」という考え方に改めることにもつながります。日々の学習が今まで以上に大切になるわけです。もちろん受験を控えている中学生には、ある程度の範囲から出題される問題を解く、という経験・練習も必要です。具体的には各学校の計画、工夫によります。

< Q 2 : 2 学期制になると通知表の回数が減りますが、学力は落ちないのでしょうか? >

A : 3 学期が 2 学期になるのですから、今までのような学期末の通知表は 1 回分減ります。しかし、「学習のひとまとまりが終了した時点で学習の様子をお知らせする」とか「夏休みや冬休み前の保護者会で学習の様子をお知らせする」など、各学校では児童生徒の学習の様子をより詳しくお伝えする工夫を行います。学習の様子を小刻みに評価し、指導を行うことが「一人一人の学力の向上」に結びつくと考えます。また、学期の途中で夏休みや冬休みがあることで復習や挽回が可能になり、学習の定着が一層図られると考えています。



< Q 3 : 秋休みを設ける学校、設けない学校とまちまちですが、全市一斉にそろえた方がよいのではないのでしょうか? >

A : 2 学期制を行うことは「これまでの教育活動を見直し、改善し、特色ある学校づくりを進める」ということにもつながります。したがって、夏休みや秋休みの設定の仕方ひとつを取り上げても、そこに各学校の事情や教育活動の特色が表れるよう工夫の余地を確保しておく方が望ましいと考えています。例えば、「夏休みを 1 週間ほど早めて終了し、秋休みを 9 連休にする」という学校があってもよいということです。ただし、保護者や地域の皆様の理解と協力は必要です。この他にも特色ある学校づくりに向けての様々な取組が行われるものと思います。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

< Q 4 : 2 学期制の実施は、結局、教師が楽をするためのものではないのですか? >

A : 決してそんなことはありません。あくまでも児童生徒の「学力の向上」「豊かな心の育成」をねらったものです。これまでの 3 学期制という 1 年間の流れでは、1 学期末や 2 学期末に教育活動や成績処理などが集中し、児童生徒への充実した指導を行うにも限界が生じていました。2 学期制の下では、こうした集中しがちな教師の業務を整理分散させることが可能になり、今まで以上に児童生徒の指導に充てる時間を確保することができます。そのことが「学力の向上」「豊かな心の育成」、そして「特色ある学校づくり」に結びつくものと期待しています。

< Q 5 : 2 学期制になると、学校行事の時期や内容が大きく変化するのですか? >

A : これまでの 3 学期制の下では、7 月・9 月・12 月などは学期末や学期始めのため、比較的行事が組みにくい時期でもありました。しかし、2 学期制ではこの時期に行事を組むことが可能になります。2 学期制の実施を機に各学校ではよりよい行事の時期や内容を検討しています。具体的には各学校の計画によりますが、1 年間の流れの中でめりはりのある教育活動が展開できるものと思います。